

一の宮プライド(PRIDE)



夢に向かって未来に羽ばたけ「元気一小」「笑顔一小」仲間とともに自立・努力・感謝！

一の宮プライドとは

子どもたちにつけてほしい資質・能力として、一の宮プライドを示しています。私のこれまでの教職経験(学校現場、行政職)から、特に、「自立・努力・感謝」が必要だと考えています。

子どもたちには、以下のように伝えています。

一の宮プライド … 3つの心

- 自立 ➡ 自分でやろうとする心
- 努力 ➡ 一生懸命に取り組む心
- 感謝 ➡ ありがとうと感じる心

■「自立」について

子どもたちが、自分の力で取り組もうとする意欲を育て、一人一人が自分でできることを増やしていくことは、自立心を育てるうえで大切なことです。



そこで、子どもさんにできることは、失敗してもいいから、何でもやらせてみてください。学校においては、学習はもちろんのこと、挨拶、掃除など、自分から進んでできることを一つ一つ増やしているところです。

■「努力」について

何事も、努力なしには事を成し遂げることはできません。生活面においても学習面においても、根気強く頑張る気持ちを育てることは、自立した大人に成長するために大切なことです。



一生懸命に取り組む姿の素晴らしさを伝えていただき、お子様の頑張りを見守り、最後まで励ましてください。「一生懸命は武者んよか」といった考えで取り組んで参ります。

■「感謝」について

子どもたちの成長は、人との関わりによって生み出されるものです。周りの人に感対する謝の心を抱くことは、謙虚な姿勢を育み、自分自身を高めることにつながっていきます。



まずは、「ありがとう」が言えるような場面では、ありがとうの心を芽生えさせ、大きくふくらませるような指導を行って参ります。

うれしい出来事！

先日、うれしい出来事がありました。

それは、地域の方からの一枚のハガキでした。内容は、4月の月末のある日、午後1時過の下校の時、1年生の男の子が阿蘇市役所付近で泣いていたそうです。連絡をされたその方は運転中だったので、自動車を降りてからその子のところに行こうとしていたそうです。

すると、5年生か6年生の子が泣いている子に優しく声をかけたとのこと。その様子を見たその人は、とても感動して嬉しくなり、このことを学校に伝えておきたいと思われ、今回のハガキによる連絡となりました。

今回のことは、子どもたちにとって自然な行動だったかもしれませんが、優しさを感じる素晴らしい出来事です。連絡をされた方は、きっと心のぬくもりを感じられ、清々しい一日を過ごされたことだと思います。

これからも、このような関りができる子どもたちに育つよう、教育活動を充実させていきたいと考えています。



引き渡し訓練を終えて

5月13日に実施しました、「引き渡し訓練」については、大変お世話になりました。

おかげさまで、スムーズな引き渡しことができました。保護者からも、「流れが分かりやすくよかったですと感じました。」というようなお声をいただき、有難く思っております。今回、小学校と中学校が連携しながら取り組むことができ、「運動場に駐車したこと」と「各学級にて子どもを引き渡すこと」が昨年度からの変更でした。今後ともよろしく願いいたします。



(整然と並んだ運動場の車の様子)

子どもたちの安全を第一に考えて